

コクガン

Branta bernicla orientalis
Tugarinov

カモ目
ANSERIFORMES
カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県
環境庁
水産庁 希少種

選定理由 本亜種の総個体数は約 5,000羽と少なく、日本の越冬個体数は数百羽、大分県には数年に 1 度、数羽が飛来し越冬する。大分県は日本の越冬地のほぼ南限である。

県内分布 別府（関の江）、杵築（守江湾）、佐伯（番匠川）に飛来する冬鳥。

分布域 北海道、本州北部の太平洋岸で冬鳥、東北以南では希に飛来する冬鳥。シベリア北部で繁殖。中国黄海沿岸で越冬。

生息環境 大きな湖沼や河口や内湾部などの海上で越冬する。アマモ、アオノリ、アオサなどの海藻やマコモなどの水草を食べる。

現 状 数年に 1 回程度、数羽が観察される。

備 考 天然記念物。

マガン

Anser albifrons frontalis
Baird

カモ目
ANSERIFORMES
カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁 準

選定理由

県内分布 河川やため池・湿地、干潟に希に飛来する冬鳥。

分布域 本州(宮城県伊豆沼、石川県片野鴨池、島根県斐伊川河口など)で冬鳥。シベリア北部で繁殖。朝鮮半島、中国中部で越冬。

生息環境 局地的に河口や内陸部の湖沼、湿地、水田、干潟に生息する。早朝に群れで飛び立ち、水田で落穂を食べる。

現 状 全国数か所の集団越冬地周辺以外では見られることが少ない。大分県では、5 年に 1 回程度の飛来記録があるのみ。

備 考 天然記念物。

ヒシクイ

Anser fabalis serratirostris
Swinhoe

カモ目
ANSERIFORMES
カモ科
Anatidae

カテゴリー

大分県 情報不足
環境庁

選定理由

県内分布 河川やため池・湿地、干潟に希に飛来する冬鳥。

分布域 亜種ヒシクイ(*A. f. serratirostris*) は主に日本海側(新潟県瓢湖、石川県片野鴨池)に飛来する冬鳥。亜種オオヒシクイ(*A. f. middendorffii*) は主に宮城県伊豆沼に飛来する冬鳥。シベリアで繁殖。朝鮮半島、中国中部・南部で越冬。

生息環境 局地的に湖沼、湿地、河川、水田、海岸に生息する。早朝に群れで飛び立ち、水田や湖沼などで落穂や水草、その根などを食べる。

現 状 全国数か所の集団越冬地周辺以外では見られることが少ない。県内では、1993年から94年にかけて飛来し、中津、宇佐、杵築、大分で観察された記録がある。

備 考 天然記念物。亜種ヒシクイは、環境庁カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類、亜種オオヒシクイは環境庁カテゴリー 準絶滅危惧種。